

留学先国名 : アメリカ合衆国

留学先学校名 : ワシントン大学

留学期間 : 平成 27 年 3 月 21 日 ~ 平成 27 年 12 月 31 日

私は 9 ヶ月間アメリカ合衆国・シアトルに留学し、ワシントン大学では主にマーケティング、ビジネス英語を学び、現地の会社でインターンを経験しました。以下が私の留学終了報告書です。

留学中の生活

留学する大きな目的として英語力の向上が挙げられますが、この達成に最も重要なことは継続です。起り得る問題としてはせっかく平日の授業で聞いたり話したりすることで身につくつあった英語を休日に英語から離れてしまうことになかった事にしてしまうことです。同じ日本からの留学生の友人は週末、部屋にこもって日本語のメディアだけに触れて過ごす、あるいは同じ日本人留学生と日本語だけを話して過ごしたために「月曜日はなんだか英語が出てきにくい。」と話していました。色々な対策が考えられますが、私自身は週末現地の友人と会い、またホストファミリーと毎晩夕食を共にするようにしていました。たとえ海外にいたとしても意識的に自分を英語に継続して向かわせることが必要です。

また現地の友人をどう得るかは留学前の私の一番の心配でした。色々な方法がありますが、長い目で見ると日本語を学びたい現地の学生と会うのが有効な方法の 1 つです。彼らと英語を教えてもらう代わりに日本語を教えるというギブアンドテイクの関係を作ります。やはり日本の文化、そこから派生した日本語への関心はアメリカの学生間でも高く、現地でも頻繁に両者のマッチングイベントが開催されていました。この方法は友達を作る点においてだけでなく留学中、更には帰国後もその関係を維持する点において有効です。お互いの言語や文化に関心があるので連絡も取りやすく、お互いの国で再度会う事ができる可能性も高いからです。

留学で得た成果

定量的な成果としては TOEIC スコアが 760 点から 920 点に上昇しました。920 点という点数自体ではなく 160 点伸ばすことが出来たこと、もう少し詳しく言うと日本人が苦手とするリスニングで 90 点伸びたことを重要視しています。要因としては上記の英語に継続的に触れ続けた事に加えて、授業中の姿勢があると思います。私は授業内で先生が話す英語を一言一句漏らさず聞くようにし、意味がわからない単語はメモを取っておいて復習するようにしていました。中には授業中に先生の話の間はず自分の持ち込んだ単語帳を読んでいた留学生の友達もいましたが英語の伸びは芳しくありませんでした。

定性的な成果としては多国籍の人たちからなる組織で自分なりの信頼獲得の方法を身につけられたことです。私は現地の食品ブローカーでインターンを 3 ヶ月経験しました。英語を第一言語としない短期のインターンとしてなかなか信頼を得られず苦労しましたが、自分にしかできないことは何かを考え実行しました。具体的には日本の食品市場で起こったニュースの中から会社にとって有益なものだけをピックアップ、英訳

し、そのニュースに対する自分の意見を最後に付け加えたものを上司に2ヶ月間提出し続けました。結果、私のバックグラウンドを活かせる日本市場に関わる仕事を与えてもらえるようになりました。

留学で得たことの活かし方

留学をして得られた一番大きなものは将来のキャリアビジョンです。上記のインターン経験から将来は自分が素晴らしいと思える商品を国境を越えて消費者に届ける仕事に携わりたいと強く感じるようになりました。重要なのはこの大きな軸を就職活動の前に得られたことです。単なる想いだけではなく、この自らの経験に基づいた想いをこれからの就職活動においての軸として活かしていこうと考えています。

次に大きいのは現地で得た友人やインターン先の方たちとの繋がりであり、これからの英語力の向上はもちろん仕事上の人脈としても活かしていきたいです。留学している最中は顔を合わせるので繋がりを維持することは難しくありませんが、日本に帰国してもなお関係を維持し続けられるかが重要です。上記のようにたとえ日本の文化や日本語に興味を持っている友人であっても keep in touch を単なる別れ文句ではなく実践していけるように努めています。

これから留学する人へのアドバイス

私ができるアドバイスとしては1つ目に留学中、自分の行動の判断基準をしっかり持つておくことをお勧めします。留学生活においては自分で判断して行動することが多くなりますし、その判断の拠り所のようなものがあると留学が大きく目的を逸脱する事なく終わられます。僕自身の判断基準は「アメリカにいるからできる事なのか、日本にいてはするのが難しい事なのか」でした。世間によく言われているように本気で英語を学ぼう、外国人の友人を作ろうと思えば日本にいてもできない事ではありません。せっかく留学してアメリカにいるのならアメリカにいないとできない事から優先してやっていこうと決めていました。

もう1つお勧めするのは留学中に自分が考えた事や取った行動、その結果などをその都度、文字にして残しておく事です。上記のように異国でいろいろな事に出くわし、その度に各自考え行動していくことになります。そういった経験は将来的に見てもなかなか出来るものではなく、特に大学生は就職活動で留学経験があればそれに関して企業側から質問される事は目に見えています。メモでも日記でもSNS上でも当時の自分を振り返れる言葉があるのとないのとでは具体性や再現性において大きく違いが生まれると思います。